



函館市議会議員 無所属 荒木あけみ ニュースレター

第 11-12 合併号 / 2017 年 7 月 20 日 / 発行責任者 荒木明美

荒木あけみ、市議 3 年目に入りました！

荒木あけみ、函館市議会議員になって折り返し地点をすぎました。この一年も、質問した内容のうち、対策が講じられた、何らかのきっかけになったかと思われる事例がありましたので、皆様にご報告致します。

五稜郭にある市総合保健センター 1F には、妊娠・出産、子育て等女性が抱える様々な悩みに対して支援を行うマザーズ・サポート・ステーションがあります。その窓口では、経済的不安や子どもの発育・発達に関する相談、不妊治療などプライバシーの配慮が必要なケースもあると感じるため、他の窓口や周りに聞こえないための対策(仕切り・ついたて等)について質問し、結果として対策が講じられました。

また、水道料金の基本料金について、昨年度までは使用した分(従量料金)は日割りだったものの、基本料金は月の途中で引越をしたとしても全額支払う仕組みでした。しかし、水道事業では累積の財源残額があり、順調な経営をされていることから、市民サービス向上の意味でも基本料金への日割り制度導入について質問し、結果として平成 29 年度より日割り制度が実施されています。

外貨両替について。台湾からいらしたお客様が早朝便のため現地で両替できず、函館に着いて両替しようとしたところ空港でできなかった、小銭もなかったのでバスに乗れず苦労した、という経験談がもとになり質問しました。市が空港ビルを経営していないので直接的な対策は想定していなかったのですが、今年のゴールデンウィークに空港で見つけたのが右の外貨両替機です。荒木の質問が何らかのきっかけとなって、検討・設置いただけただけなのであれば嬉しいことです。

最近、財務についての質問を毎回のようにおこなっています。人口減少が進み、税収及び地方交付税等の歳入面で不安が残りますが、函館が生き残るまちななるよう正しい情報を得て、将来について皆様と共に考えていきたいと思えます。



ぜひ質問の全容を知っていただきたい

市は定例会終了ごとに「市議会だより」を発行しており、「市議会だより」を読んだよ！という声をかけていただくこともあります。よくよくお話すると紙面にある部分しか質問していないと思われることがありました。残念ながら、市議会だよりには 60 分質問したうちの 1 項目分の抜粋しか載りません。またこのニュースレターでもすべては載せておらず、各大綱の要になる質問を 1 つずつ選んでいます。荒木は毎回 60 分間質問をしており、質問に至るまでの流れや言葉一つ一つを吟味して議場にのぞんでいます。ぜひ、質問の全容を知っていただきたく、議会傍聴やケーブルテレビでの議会中継を視聴いただければと思います。また「荒木あけみと語る会(議員活動報告会)」でも質問とその答弁について報告をしておりますので、どうぞ参加ください。

荒木あけみ 一般質問 (3/16 8回目)

3月16日(木) 13:50~14:50、大綱4点について質問。

詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



大綱 1 雇用実態と雇用対策

荒木：函館の雇用において、職種間でのミスマッチの実態と、その解消策はどのように考えているか？

荒木の課題⇒現在行っている取り組みについて客観的に評価する。

経済部：ミスマッチの実態では、介護や調理等のサービス職、建築技術者や看護師等の専門・技術職等で求人過剰の一方、求職者の人気が高い事務職は求人不足。国の事業を活用し、地域ニーズに即した人材育成や合同企業説明会の実施、道との連携で就労支援に取り組んでいるがなかなか解消に至っていない。

大綱 2 地域包括ケアシステム

荒木：地域包括ケアシステムの中で、函館病院は高度急性期の病院として、かかりつけ医とのつながり・連携が重要と考える。具体的にどんな取り組みによって実施するのか。

荒木の課題⇒訪問活動の成果と経営効率化に対する貢献度について確認する。

病院局：かかりつけ医とのつながり強化は、地域包括ケアシステムにおける函病の役割を果たす上で、また経営効率化でも非常に重要。従来からかかりつけ医からの紹介患者の受入れや急性期を脱した患者の逆紹介を進めている。函病の医師が診療所、クリニックを訪れ函病への要望を直接伺う訪問も行い、頂いた声をできる限り業務に反映することでよりスムーズに紹介患者受入れを図りたい。

大綱 3 台湾との交流促進

荒木：台北との間には定期便が運航している。台湾の航空会社から、アウトバウンド(函館から台湾へ)の利用促進に関する要望がよせられたが、どのような要望か。そもそも、函館から台湾へ2つの航空会社から直行便が飛んでいることを知らない方も多いのでは。アウトバウンドの利用促進にどんな取り組みをしていくのか。

荒木の課題⇒利用促進のために行われている取り組み内容とその成果について確認する。

港湾空港部：本年2月台湾へのトッププロモーションの際、航空会社から台湾からの便は搭乗率が高いが、函館からは搭乗率が低くアンバランスな状態、函館や周辺地域からのアウトバウンド増加の要望があった。アウトバウンドの利用促進には、国際線の認知度向上と就航先の魅力のPRが必要。広報紙を活用した路線のPRの他、関係する航空会社等と連携し国際線の利用促進に努めたい。

大綱 4 非常時の学校給食

荒木：昨年のアスベストの一件では、小中学校の給食調理場での劣化剥離があり給食中止や簡易給食があった。今回の簡易給食実施時には、保護者、学校側からどのような声が挙がっていたのか。今後、このような非常時に活かせる課題や対応があるか。

荒木の課題⇒検討結果について把握する。

教育委員会：保護者からは「簡易給食の量が不足しており、栄養バランスも悪い」、「民間の飲食業者を活用し、学校給食を提供してほしい」「通常給食との差額を返還してほしい」等寄せられた。学校からも簡易給食の早期解消を求められた。今後の教訓として、事故や災害により、止むを得ず通常の学校給食が提供できない場合等にも、簡易給食の提供が迅速にできるよう提供できる品目をリスト化する他、メニューや量も検討したい。

荒木あけみ 一般質問 (6/13 9回目)

6月13日(火)15:30~16:30、大綱4点について質問。

詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



大綱1 財政における基金のあり方

荒木：国が全国的に地方自治体の基金増を問題視しているが、函館市の基金額は国が問題視している基金額のレベルと違う(むしろ少ない)と捉えている。市が考える基金残高の目標値はどの程度なのか。

荒木の課題⇒基金積み立て、取崩しに関する動向をチェックしていく。

財務部：H28年度末の基金残高見込は18の基金で総額約112億円、うち財源調整の基金は約48億円、H29年度廃止した4基金を加えると約60億円。基金残高の目標値は、他都市と比較可能な算出方法等がないため目標を立てていないが、過去に財源不足で20億5千万円を取り崩したこともあり、将来に対する備えとして積立額増額が重要。今後も確実に前年度繰越金の1/2を基金に積み立てる。

大綱2 公有財産の管理・活用

荒木：市が所有する普通財産の利活用・処分についてはどのように考えているか。また売払い可能財産の処分についてどのように計画を立てて取り組んでいるのか。

荒木の課題⇒利活用しにくい、売却しにくい普通財産の維持・管理の実態について調べる。

財務部：インフラ施設を含めた全ての公共施設が対象の函館市公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定。この計画で、施設保有総量の縮減目標を10年間で39,000㎡と定め、達成に向け施設ごと各個別計画で取り組む。用途廃止した普通財産は庁内全体で活用を検討。公共施設として利用しない場合は費用対効果等も考慮し基本的に売払いする。

大綱3 不登校・ひきこもり

荒木：昨年12月に、教育機会の確保に関する法律が公布された。この法律が施行されたことで、不登校に対する認識に変化が出てくると思うが、その変化はどのようなものか、またその変化をどのようにすべての先生方へ伝えていくのか。

荒木の課題⇒不登校・ひきこもりを総合的に担当する部局の必要性、可能性について調査する。

教育委員会：不登校の捉え方は時代と共に変化。かつては学級での生活を重視、次第に保健室等の別室での学習や登下校時間等に対する配慮、学校外の場での学習等、柔軟な対応が求められる認識が変化。本法律の制定を受け、学校以外での多様で適切な学習活動の重要性の理解、児童生徒の心情に寄り添い柔軟な対応が求められている。今後管理職が集まる会議や生徒指導に関する研修会等の機会で法律の趣旨や内容を周知したい。

大綱4 学校統廃合

荒木：平成27年12月議会で、学校の統廃合により、校内にある様々な物品の行き場について質問した。学校で不要となった備品を一般市民へ譲渡できないか、他都市の事例を含めて調査研究という答弁だったが、その後どのような結論になったか。また廃校となった学校の、公文書以外の歴史的資料の保存方法等もどうなったか。

荒木の課題⇒調整結果について追跡する。

教育委員会：財産条例上、物品譲渡は公益上の必要に基づく場合のため、その基準・実施方法を関係各部と調整中。来春の学校統合の際、統一的な取扱いで実施できるよう手法を検討。歴史的資料は、統合先学校の展示スペース等を考慮し統合準備委員会等が保存資料を選別、統合前学校から統合先に引き継ぎ実情に合わせて保存。五稜郭中では歴史的資料を展示、来年度開校の巴中、青柳中でも統合先学校に展示スペース等を設ける。

未来へつなぐ荒木あけみネット掲載写真より ~Facebook ページ~



千葉県流山市役所訪問。井崎市長、第二代西田マーケティング課長と。(4/27)



新人議員のための地方自治基本コース
全国市町村国際文化研修所(滋賀県)
(5/15-19)



女性議員パワーアップ
セミナー(1/11)



財政(左)、地域包括ケア(右)に関する研修(2/6、4/28)



雪道の
通学路体験
(谷地頭から
弥生小まで、
大人の足で
35分) (3/5)



函館マラソン前清掃 (6/11)



荒木あけみと語る会(議員活動報告会)
函館アリーナ (1/29)



荒木あけみと語る会(議員活動報告会)
石川町会館で (5/13)



函館マラソン応援 (7/2)

最後までお読みくださり、ありがとうございます。

荒木あけみ後援会は、ニュースレターの封入・封緘作業等、ボランティアの方々に支えられております。発送作業や事務作業などお手伝いいただける方は、枠下の連絡先までお知らせください。1～2時間のお手伝い、自宅での作業など色々な関わり方があります。よろしく願いいたします！

荒木あけみと語る会(議員活動報告会)については、同封の別紙をご覧ください。

ニュースレターの感想、市政へのご意見などお聞かせください！

郵送の方は → 〒040-0035 函館市松風町 17-10 未来へつなぐ荒木あけみネット

FAXの方は → 0138 (76) 3321

メールの方は → araki.akemi@gmail.com

荒木あけみホームページ : <http://www.arakiakemi.jp/>

未来へつなぐ荒木あけみネット Facebook ページ : <https://www.facebook.com/ARAKIAKEMInet>